

放送番組審議会 議事録

2019年度の放送番組審議会は、2020年3月13日（金）にJエコム東京足立局で開催された。

＜放送番組審議会委員＞

ご出席

足立義夫様 大兼茂子様
齋藤幸枝様 澤田純平様
神保義博様 (代理出席 今茂様)
三石美鶴様 (50音順)

ご欠席

なし

審議会会長、副会長を選任

会長に足立委員、副会長に斎藤委員を選任した。

事業者側から現況報告および J:COM チャンネルの取り組みについて報告があった。

【審議 質疑応答】 足立会長による進行

■番組制作についてのご意見、ご要望

(委員)

台風 19 号の緊急放送は区長が出演することで見守っているというメッセージが伝わってよい。新型コロナウイルスに罹患した方が受診した病院を近藤区長自身が視察したというお話しもよかった。登校禁止により子どもの学習権が失われているが、テレビはその時間を埋める役割を果たしているのもよいと思う。東京オリンピック・パラリンピックの機運が高まっているが、障害者に対する援助や参加方法がまだ知られていない状況があると感じている。

(委員)

アナウンサーの永井さんは声がとても聴きやすい。よい印象の方なので、ぜひ続けてほしい。コメントが的確。

(事業者)

残念ではあるが、本人の都合により三月末で番組を降板する。

(委員)

人図鑑も面白いが新しい視聴者参加番組はできないか。個人、団体で応募してもらったらどうか。

(委員)

なるべく編成時間に見るようにしている。地域に根差しているため参考にしている。学校だけでなく取材ネタが多様化している。自分も六町ミュージアムが発見できて役立っている。図書館の「読み聞かせ」はよい番組なのに時間が短く、物足りなさを感じた。観客が少ないのは印象が悪いので写さないほうが良かったのでは。広報誌とタイアップした企画が増えても良い。

(委員)

「光の祭典」にはなかなか行けないのでテレビで観た。行ってみたい、という気分になれた。台風の話もあったが、番組では具体的にどう動けばよいのか分からなかった。情報検索の案内にとどまらず、検索して実際にどのような部分をみればよいか、もう少し深い紹介があればよかったと思う。

(委員)

「光の祭典」点灯式は中継のタイミングがうまくないところもあった。水害については所管する部署の担当者ではなく区長自らが出演し、情報を伝えていきたい。コミチャンへの区長出演は庁内でも評価されている。災害時、計画的な情報発信の難しさはあるが、情報の種類に応じてベストな伝え方を心がけていきたい。特に水害は予測できるので生放送の方向で続けていきたい。

(委員)

荒川堤防から水が染み出て怖い思いをしている。「かみそり堤防」はどうにかしてほしい。

(委員)

オリンピック聖火は楽しみだが、どのようになるのか。パラリンピック競技のボッチャ、障害者理解の一助になるので、ぜひ足立区で広まってほしい。二月は障害者スポーツ月間だったが 100 名以内の大会にとどまっており、まだ広報が足りない。

また、子どもの問題も取り上げてほしい。心に痛みを感じている保護者、不登校や自殺の問題なども扱ってほしい。救える方法はないものだろうか。

(事業者)

足立区の聖火ランナーイベントは、当局が事業運営を受託した。精一杯盛り上げたい。

(委員)

発達障害の子どもを預かるフリースクールを運営している。足立区は行政の中で珍しく「子どもの貧困」に正面からスポットを当てた政策を公表している。4 月に十中と花保中で新型フリースクールをオープンする。区内に 800 人いる不登校対策の一環。コミチャンでも子どもたちの健全育成に関する番組づくりに期待したい。貧困家庭に対する取り組みは公表しづらい面も少なくないが、じっくりと取り組むテーマにしてほしい。

ねづちい散歩は面白い。継続して欲しい。「人図鑑」のキャスターが関西弁なのが気になる。

(委員)

いじめの問題など人権教育も、足立区でまだまだ必要と感じる。

新型コロナ対策は手洗いなど基本的な情報を流し続けることが重要。

（委員）

新型コロナの民間支援（グラウンドの草むしりボランティア、安価な弁当提供など）の情報を出すので番組連携できると良い。今後も双方向で情報共有を続けていきたい。

閉会（事務局）

委員の皆さんからの貴重なご意見をいただいた。ご意見、ご要望を今後の番組制作に活かしていく所存である。